

資源ツインαファンド (通貨選択型) マネープールコース

第2期運用報告書 (全体版) (決算日 2016年1月25日)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2015年5月8日から2018年7月25日まで	
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	「T & D マネープールマザーファンド」を主要投資対象とします。
	マザーファンド	わが国の国債および公社債ならびに短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時(年2回、1月および7月の各25日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。 分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「資源ツインαファンド(通貨選択型)マネープールコース」は、2016年1月25日に第2期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<http://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配 金	期 騰 落 率					
設定日 2015年5月8日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 0.1	
1期(2015年7月27日)	10,001	0	0.0	—	—	—	0.1	
2期(2016年1月25日)	10,002	0	0.0	60.6	—	—	0.1	

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基準価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
	騰 落 率	騰 落 率				
期首(前期末) 2015年7月27日	円 10,001	% —	% —	% —	% —	% —
7月末	10,001	0.0	—	—	—	—
8月末	10,001	0.0	—	—	—	—
9月末	10,001	0.0	—	—	—	—
10月末	10,001	0.0	49.0	—	—	—
11月末	10,001	0.0	53.4	—	—	—
12月末	10,002	0.0	60.2	—	—	—
期 末 2016年1月25日	10,002	0.0	60.6	—	—	—

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

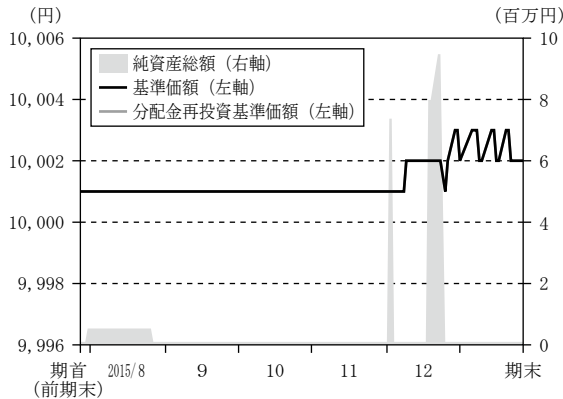
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第2期首：10,001円

第2期末：10,002円 (既払分配金0円)

騰落率：0.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2015年7月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

国庫短期証券やコールローンの利回りが極めて低位で推移する中、組入れているマザーファンドの基準価額は若干下落したものの、当ファンドの基準価額はコールローンの利息収入により極めて小幅な上昇となりました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
T&Dマネープールマザーファンド	△0.0%

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは0.00%程度で横ばいに推移しました。

期首は△0.002%でしたが、2015年11月に日銀による買入オペの金額が拡大されたことをきっかけに△0.112%まで低下しました。その後は、外国人投資家からの需要が低下したことより利回りはやや上昇し、期末は△0.035%程度となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

期を通じて、「T&Dマネープールマザーファンド」に概ね80～90%程度投資し、残りの資産につきましてはコールローンで運用を行いました。

【T&Dマネープールマザーファンド】

国債の組入比率は、マイナス利回りのため一時期組入れを見送り、その他においては概ね50%以上の水準とし、期末の組入比率は67.4%程度となりました。残りの資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は基準価額水準等を勘案し、見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「T&Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象として運用を行います。

【T&Dマネープールマザーファンド】

国内景気は、雇用所得環境の改善から持ち直すと見られますが、外需の弱さなどが下押し圧力として作用し、景気回復は緩やかなものに留まると見られます。さらに世界的な物価上昇圧力の低さを考慮すると、インフレ期待が急速に盛り上がる可能性は低いと考えられます。今後も日銀の国債買入が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は引続き低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国債を中心とした短期公社債および短期金融商品による安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細（2015年7月28日から2016年1月25日まで）

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2015/7/28～2016/1/25		
	金額	比率	
平均基準価額	10,001円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	0円	0.002%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(0)	(0.001)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での
(受託会社)	(0)	(0.000)	ファンドの管理等の対価
(b) その他費用	1	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	1	0.007	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況 (2015年7月28日から2016年1月25日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
T & D マネープールマザーファンド	千口 15,111	千円 15,390	千口 15,111	千円 15,390

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2015年7月28日から2016年1月25日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2015年7月28日から2016年1月25日まで)

期首残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取 引 の 理 由
千円 100	千円 —	千円 —	千円 100	当初設定時における取得

(注) 単位未満は切捨て。

組入資産の明細 (2016年1月25日現在)

親投資信託残高

種 類	期首 (前期末)		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
T & D マネープールマザーファンド	千口 88	千円 90	千口 88	千円 90

(注) T & D マネープールマザーファンド合計の受益権口数は1,458,855千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2016年1月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
T & D マネープールマザーファンド	千円 90	% 90.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	10	10.0
投 資 信 託 財 産 総 額	100	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年1月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	100,036円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10,034
T & Dマネーブルマザーファンド(評価額)	90,002
(B) 負 債	14
未 払 信 託 報 酬	5
そ の 他 未 払 費 用	9
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	100,022
元 本	100,000
次 期 繰 越 損 益 金	22
(D) 受 益 権 総 口 数	100,000口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	10,002円

- (注) 期首元本額 100,000円
 期中追加設定元本額 24,960,619円
 期中一部解約元本額 24,960,619円
 (注) 1口当たり純資産額は1,0002円です。

損益の状況

当期 自2015年7月28日 至2016年1月25日

項 目	当 期
(A) 受 当 取 等 利 息	30円
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△14
売 買 損 益	△6
売 買 損 益	△8
(C) 信 託 報 酬 等	△14
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	2
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	20
(配 当 等 相 当 額)	(14)
(売 買 損 益 相 当 額)	(6)
(F) 合 計(D + E)	22
(G) 取 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(F + G)	22
追 加 信 託 差 損 益 金	20
(配 当 等 相 当 額)	(14)
(売 買 損 益 相 当 額)	(6)
分 配 準 備 積 立 金	16
繰 越 損 益 金	△14

- (注) 損益の状況の中で
 (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(16円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)および収益調整金(14円)より、分配対象収益は30円(1万口当たり3円)となりましたが、当期の分配は見送らせていただきました。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位: 円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2015年7月28日 ～2016年1月25日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3

- (注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

補足情報

T & Dマネープールマザーファンドの主要な売買銘柄

公社債

2015年7月28日から2016年1月25日まで

買	付	売	付
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第554回国庫短期証券	920,000	—	—
第95回利付国債（5年）	810,504		
第338回利付国債（2年）	191,061		

(注) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

T & Dマネープールマザーファンドの組入資産の明細

下記は、T & Dマネープールマザーファンド全体（1,458,855千円）の内容です。

(A) 国内（邦貨建）公社債<種類別>

2016年1月25日現在

区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 1,000,000	千円 1,000,756	% 67.4	% —	% —	% —	% 67.4

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

(注) 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内（邦貨建）公社債<銘柄別>

2016年1月25日現在

区分	銘柄	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	第338回利付国債（2年）	% 0.1	千円 191,000	千円 191,028	2016/3/15
	第95回利付国債（5年）	0.6	809,000	809,728	2016/3/20
合計	銘柄数 金額	2銘柄	1,000,000	1,000,756	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第22期（決算日 2015年12月10日）
（計算期間 2015年6月11日から2015年12月10日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2015年12月10日に第22期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純資産総額
	円	騰落率			
18期（2013年12月10日）	10,179	0.0	85.3	—	百万円 1,793
19期（2014年6月10日）	10,181	0.0	85.3	—	1,771
20期（2014年12月10日）	10,183	0.0	22.0	—	1,771
21期（2015年6月10日）	10,183	0.0	21.3	—	1,736
22期（2015年12月10日）	10,184	0.0	65.8	—	1,521

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率 %	債券組入比率 %	債券先物比率 %
期首（前期末） 2015年6月10日	10,183	—	21.3	—
6月末	10,183	0.0	63.4	—
7月末	10,184	0.0	—	—
8月末	10,184	0.0	—	—
9月末	10,184	0.0	—	—
10月末	10,184	0.0	54.5	—
11月末	10,184	0.0	59.3	—
期 末 2015年12月10日	10,184	0.0	65.8	—

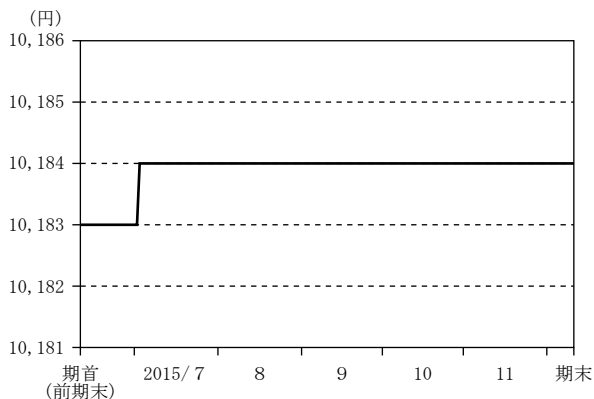
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,183円からスタートし、期末は10,184円となりました。運用対象である国庫短期証券やコールローンの利回りが極めて低位で推移した為、小幅な上昇となりました。

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは0.00%程度で横ばいに推移しました。期初は0.001%でしたが、7月上旬に実施された国庫短期証券入札の結果が堅調だったことから、一時 Δ 0.077%まで低下しました。その後、7月中旬の国庫短期証券入札の結果が軟調だったことから再び水準を戻し、0.00%程度に上昇しました。11月に入ると日銀による買入オペ金額の拡大をきっかけに再度利回りは低下し、期末は Δ 0.037%程度となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

期首の国庫短期証券の組入比率は概ね85%程度の水準としましたが、国庫短期証券の利回りがマイナスとなっていた局面では組入れを見送り、期末の組入比率は65.8%程度となりました。残りの資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

国内景気は、雇用所得環境の改善から持ち直すと見られますが、外需の弱さなどが下押し圧力として作用し、景気回復は緩やかなものに留まると見られます。さらに世界的な物価上昇圧力の低さを考慮すると、インフレ期待が急速に盛り上がる可能性は低いと考えられます。今後も日銀の国債買入が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は引続き低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、引続き短期国債等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2015年6月11日から2015年12月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2015年6月11日から2015年12月10日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	3,021,557	— (2,390,000)

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

(注) () 内は償還による減少分です。

当期中の主要な売買銘柄 (2015年6月11日から2015年12月10日まで)

公社債

買	付	売	付
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第524回国庫短期証券	1,099,991	—	—
第554回国庫短期証券	920,000		
第95回利付国債(5年)	810,504		
第338回利付国債(2年)	191,061		

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2015年6月11日から2015年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2015年12月10日現在)

下記は、T&Dマネープールマザーファンド全体(1,493,763千円)の内容です。

公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債<種類別>

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国 債 証 券	千円 1,000,000	千円 1,001,424	% 65.8	% —	% —	% —	% 65.8

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内(邦貨建)公社債<銘柄別>

区 分	当 期			末		
	銘 柄	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国 債 証 券	第338回利付国債(2年)	0.1	千円 191,000	千円 191,064	2016/3/15	
	第95回利付国債(5年)	0.6	809,000	810,359	2016/3/20	
合 計	銘 柄 数 金 額	2 銘柄	1,000,000	1,001,424		

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2015年12月10日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 1,001,424	% 65.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	519,772	34.2
投 資 信 託 財 産 総 額	1,521,196	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,521,196,676円
コール・ローン等	518,650,298
公 社 債(評価額)	1,001,424,060
未 収 利 息	110,702
前 払 費 用	1,011,616
(B) 純 資 産 総 額 (A)	1,521,196,676
元 本	1,493,763,049
次 期 繰 越 損 益 金	27,433,627
(C) 受 益 権 総 口 数	1,493,763,049口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (B/C)	10,184円

(注) 期首元本額 1,705,053,311円
 期中追加設定元本額 9,227,222円
 期中一部解約元本額 220,517,484円

(注) 1口当たり純資産額は1.0184円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

世界物価連動国債ファンド	111,233,927円
T&Dインド中小型株ファンド	19,925,634円
米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)円ヘッジ・コース	4,779,759円
米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コース	80,773,520円
米国リート・プレミアムファンド(年2回決算型)マネーボール・コース	88,475円
豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)	4,916,905円
野村エマージング債券投信(円コース)毎月分配型	69,256,219円
野村エマージング債券投信(円コース)年2回決算型	10,388,902円
野村エマージング債券投信(米ドルコース)毎月分配型	3,938,752円
野村エマージング債券投信(米ドルコース)年2回決算型	1,296,661円
野村エマージング債券投信(豪ドルコース)毎月分配型	72,378,562円
野村エマージング債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	5,091,243円
野村エマージング債券投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型	743,452,592円
野村エマージング債券投信(ブラジルレアルコース)年2回決算型	14,449,567円
野村エマージング債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	2,591,924円
野村エマージング債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	269,211円
野村エマージング債券投信(カナダドルコース)毎月分配型	5,067,047円
野村エマージング債券投信(カナダドルコース)年2回決算型	1,310,211円
野村エマージング債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	160,888,545円
野村エマージング債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	26,602,480円
野村エマージング債券投信(トルコリラコース)毎月分配型	103,951,626円
野村エマージング債券投信(トルコリラコース)年2回決算型	8,461,177円
野村エマージング債券投信(金コース)毎月分配型	20,422,125円
野村エマージング債券投信(金コース)年2回決算型	4,365,016円
野村エマージング債券投信(マネーボールファンド)年2回決算型	5,597,426円
資源ツインαファンド(通貨選択型)ブラジルレアルコース	4,910,145円
資源ツインαファンド(通貨選択型)トルコリラコース	883,826円
資源ツインαファンド(通貨選択型)米ドルコース	6,383,188円
資源ツインαファンド(通貨選択型)マネーボールコース	88,384円

損益の状況

当期 自2015年6月11日 至2015年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	187,293円
受 取 利 息	187,293
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 142,209
売 買 益	3,411
売 買 損	△ 145,620
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	45,084
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	31,276,281
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	169,778
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 4,057,516
(G) 合 計 (C+D+E+F)	27,433,627
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	27,433,627

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。